

ミッションテーマは【信頼を、さらに強く。日本にしかできないことがある。】

大西宇宙飛行士らが、国際宇宙ステーションに到着！

約4か月間の長期滞在がスタート



①

ISSに入室後に地上と交信する大西宇宙飛行士ら第48次/49次長期滞在クルー

打ち上げからおよそ2日後の午後3時53分（日本時間）、ISS船内に入室しました。

大西宇宙飛行士ら3名の第48次/49次国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在クルーを乗せたソユーズ宇宙船 (47S) は、7月9日 (土) 午後1時6分 (日本時間)、国際宇宙ステーション (ISS) とのドッキングが完了しました。その後、午後3時53分にはソユーズ宇宙船とISS間のハッチが開かれて、大西さんたちは、ISS船内に入室しました。

ハッチが開かれた時点で、大西宇宙飛行士の第48次長期滞在クルーとしてのミッションが始まりました。

ISSに到着後に行われた地上との交信イベントで大西さんは「思った以上に順調で快適な旅でした。(中略) 月曜からバリバリ働きたいと思います。」と笑顔で応えていました。

長期滞在中の大西さんのミッション
「きぼう」日本実験棟を利用したユニークな実験が本格的に始動し、今回の大西宇宙飛行士のミッションには「日本にしかできないこと」がたくさん詰まっています。

【滞在中の取り組み例】

- ・新薬開発につながるたんぱく質の結晶作製
- ・筋肉や骨が弱る老化のメカニズムをマウスの飼育で探る実験
- ・「きぼう」から超小型衛星を宇宙へ放出
- ・老朽化したISSのバッテリーを日本製に交換



宇宙ではきれいなたんぱく質の結晶ができる。その構造を精密に調べることで、副作用が少ない新薬の開発につながる事が期待される



③

ISSに入室し抱擁を交わす大西宇宙飛行士

長期滞在中の最新情報はコチラ

【大西宇宙飛行士 Google+】



大西宇宙飛行士が軌道上から任務や宇宙での生活の様子を自身の言葉でわかりやすく伝えてくれる予定です。ぜひフォロー/ブックマークをお願いします！